

⑥ 医療

雇用創造目標 約900人

【現状・課題】

- ①医師、看護師の不足により、病院勤務医や看護師の負担が増大しており、医師、看護師の確保や負担軽減が必要。
- ②看護師不足に対応するため、看護師の離職防止や潜在看護師の掘り起こしが必要。

※医師不足数：170人 [H22.6厚生労働省調査]、看護師不足数：238人 (H27年)[H22第7次看護職員需給見通し]、理学療法士等不足数：126人 [H23.7県医療政策課調べ]

【現場の意見】

- ①看護職員の離職の大きな理由は、県外への結婚転出と育児問題。
- ②育児支援のためのサポート体制の情報提供、ネットワークづくり、労働環境改善、家族の理解を得ることが課題。
- ③医師等の負担軽減を図る医療クラーク(医師事務作業補助者)の雇用には、国・県の支援の継続が必要。

【雇用創造への展開方向】

- ①医師、看護師、理学療法士等の確保
(医師、看護師、理学療法士等の確保の奨学金など)
- ②医師・看護師の負担軽減
(医療クラーク配置への支援など)
- ③潜在看護師の再就業支援及び看護師の離職防止
(就業支援体制の充実、院内保育所設置支援など)

【目標】

- ①医師、看護師、理学療法士等の県内就業確保(奨学金)
- ②医療クラーク配置への支援
- ③潜在看護師の再就業支援
⇒ 4年間で約900人の雇用創造を目指す。

【目指す姿】

- 医師、看護師、理学療法士等を確保し、県民が安心して医療を受けられる体制を整える。

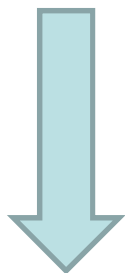
【主な事業】 [※②④:24年度予算額、③:23年度予算額、単位:百万円]

- ①医師、看護師、理学療法士等確保関係奨学金【拡充】 [②4688 ③629]
- ②医師等環境改善事業(医療クラーク等配置支援)【拡充】 [②498 ③93]
- ③ナースセンター事業【継続】 [②16 ③16]
・潜在看護師研修・再就業支援、求人求職情報登録・相談
- ④看護職員就業支援事業【新規】 [②10 ③0]
・就業支援コーディネーター配置による看護師再就業支援・定着促進・離職防止
- ⑤看護職員応援事業【新規】 [②1 ③0]
・看護職員の家族等の病院見学による看護職に対する理解促進
- ⑥院内保育所整備・運営費補助【継続】 [②78 ③63]
- ⑦仕事と育児の両立応援事業【継続】 [②1 ③1]

不足する医療スタッフ(医師、看護師等)の確保



需要の増加に伴う医師・看護師等の不足



医師・看護師等の負担増大

雇用確保

働きやすい環境の整備

医師、看護師等の就業促進

- 医師、看護師、理学療法士等確保関係奨学金一定期間県内で業務従事した場合返還免除等になる

潜在看護師の再就業促進

- 就業支援体制の充実
- 潜在看護師研修、求人求職情報登録・相談

医師、看護師の業務軽減

- 医療クランク配置への支援

看護師の離職防止

- 看護職員家族等への看護職理解促進
- 院内保育所の整備・運営費支援
- 仕事と育児の両立応援事業費補助

スタッフの充足



安心して医療を受けられる体制

